

Pioneer *sound.vision.soul*

CD/チューナー・WMA/MP3対応・
DSPメインユニット

DEH-P077

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

[異常時の処置]

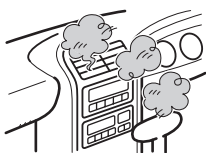
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

— CONTENTS

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください 2

- 絵表示について
- 安全上のご注意

はじめに

各部のなまえ 6

- 本体
- リモコン

本機の特長 8

- WMAについて
- MP3について

50枚型マルチCDプレーヤーの

使用について 9

リモコンの準備 9

バッテリー上がりを防ぐために 10

ガイド表示について 10

デモモードについて 11

本機の基本操作

本機の基本操作 12

- 電源ON
- ソース選択
- 音量調節
- 電源OFF

内蔵CDでCDを聞く

内蔵CDの基本操作 14

- CDセット
- 選曲
- 早送り・早戻し
- CDイジェクト

モードの切り換えかた 16

- ファンクションモードの切り換え

同じ曲を繰り返し聞く 17

いつもと違う曲順で聞く 17

聞きたい曲をさがす 18

CD再生を一時停止する 19

選曲方法を切り換える 19

10曲飛びに選曲する 20

CDのタイトルを表示させる 20

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を

表示させる 21

WMA/MP3を聞く

WMA/MP3の基本操作 22

- CD-ROMセット
- フォルダー選択
- 選曲
- 早送り・早戻し
- CD-ROMイジェクト

モードの切り換えかた 25

- ファンクションモードの切り換え

同じ曲やフォルダーを
繰り返し聞く 26

いつもと違う曲順で聞く 27

聞きたい曲やフォルダーを
さがす 28

WMA/MP3再生を一時停止する 29

タイトルを見て
聞きたいフォルダーをさがす 30

選曲方法を切り換える 31

フォルダー内の曲を10曲飛びに
選曲する 31

TAG表示をON/OFFする 32

WMA/MP3のタイトルを
表示させる 33

- 表示切り換え
- 隠れている文字を表示する

ラジオを聞く

ラジオの基本操作 34

- バンド切り換え
- 選局

複数の放送局を自動的に
記憶させる 36

放送局を1局ずつ記憶させる 37

記憶させた放送局を呼び出す 38

- 記憶させた放送局を直接呼び出すとき
- 記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

放送局名を選ぶ 39

マルチCDでCDを聞く

マルチCDの基本操作	40
●ディスク選択	
●選曲	
●早送り・早戻し	
モードの切り換えかた	42
●ファンクションモードの切り換え	
●詳細設定モードの切り換え	
同じ曲やCDを繰り返し聞く	43
いつもと違う曲順で聞く	44
聞きたい曲やCDをさがす	44
聞きたい曲だけ記憶させておく	46
記憶させた曲だけ再生する	47
記憶させた曲を1曲ずつ	
記憶から消す	48
記憶させた曲をCDごとに	
記憶から消す	49
CDのタイトルを記憶させる	50
CDのタイトルを表示させる	52
「CD TEXT」のタイトルや歌手名を	
表示させる	52
●表示切り換え	
●隠れている文字を表示する	
タイトルを見て聞きたいCDを	
さがす	53
CD再生を一時停止する	54
CDの音質を調節する	55

音を調節する

調節モードの切り換えかた	56
●RCA外部出力がサブウーファー出力	
“PREOUT:S/W”のとき	
●RCA外部出力がノンフェーディング出力	
“PREOUT:FULL”のとき	
前後左右の音量	
バランスを調節する	58
小音量時の音に	
メリハリをつける	58
サブウーファーを使う	59
低い音をスピーカーから	
出力させないようにする	61
外部アンプなどでサブウーファーを	
調節する	63
各ソースの音量の	
違いをそろえる	64

音場と音質を調節する

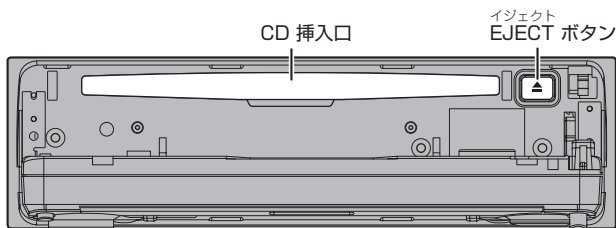
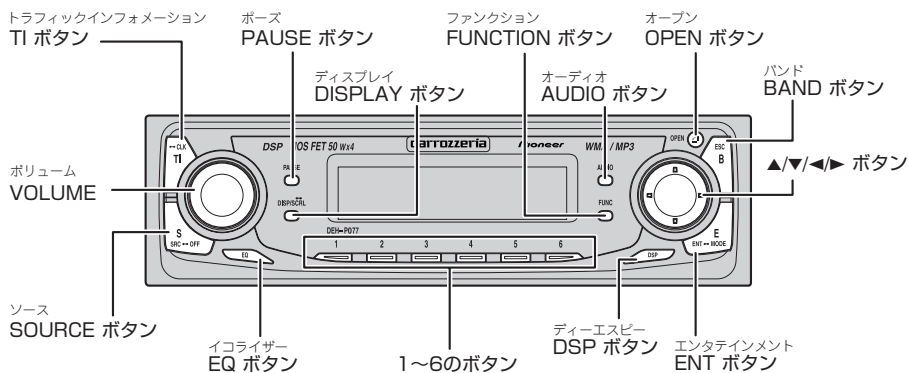
モードの切り換えかた	66
イメージに合った演奏会場を	
再現する	66
●手順2でBBEを選んだとき	
イコライザーカーブを選ぶ	68
●EQボタンで選ぶとき	
●DSP調節モードで選ぶとき	
イコライザーカーブを	
大まかに補正する	69
イコライザーカーブを	
細かく調節する	70
音場の中心で聞く	72
騒音に合わせて音量を変える	73

その他の機能と付録

瞬時に音量を小さくする	74
時計を表示させる	74
交通情報を受信する	75
初期設定モードの切り換えかた	76
時計を合わせる	77
外部機器の音声を聞く	78
外部機器の名称を入力する	78
夜間のディスプレイの明るさを	
切り換える	79
ディスプレイの明るさを調節する	80
RCA外部出力から出力される	
信号を選ぶ	80
音の歪みを補正する	81
ミュート/アッテネート切り換え	82
背景の設定をする	83
エンタテインメントを表示する	83
オペレーションモード2で操作する	84
●ラジオのとき	
●内蔵CDのとき	
●WMA/MP3とマルチCDのとき	
●テレビのとき	
●ソースDVDとマルチDVDのとき	
CDの正しい使いかた	86
WMA/MP3ファイルについて	88
故障かな?と思ったら	90
こんなメッセージが表示されたら	92
保証書とアフターサービス	93
用語解説	94
おもな仕様	96

各部のなまえ

■ 本体



■ リモコン

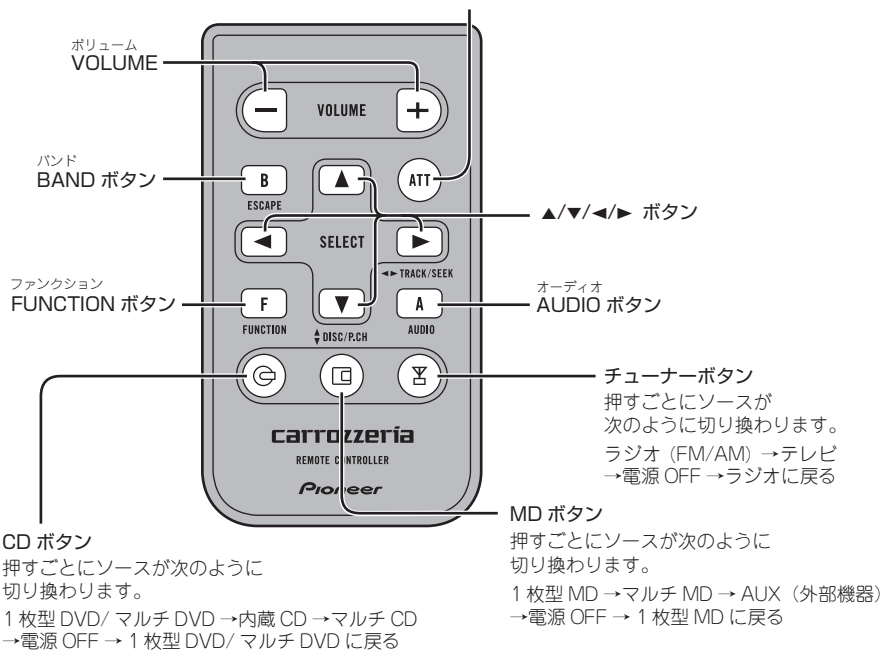
各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ動きをします。

ATT ボタンは、リモコンだけに付いているボタンです。

アッテネーター

ATT ボタン (74 ページ)

押すごとにアッテネーターが ON/OFF します。アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。



- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
- ・ DISCがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・ AUX (外部機器) の設定 (78 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。

本機の特長

本機の操作方法には、オペレーションモード1とオペレーションモード2があります。本書では、オペレーションモード1で説明しています。オペレーションモード2で操作するには85ページをご覧ください。

本機は、音楽CD、WMA/MP3の再生に対応しています。

CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

WMA/MP3再生

WMAおよびMP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（88、94ページ）

■ WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7、7.1、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■ MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはバイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

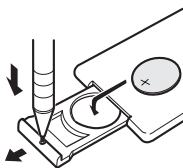
本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出し、リチウム電池 (CR2025) を⊕側を上にしてセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

- ・ リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・ 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・ 付属の電池は、充電しないでください。
- ・ リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機を使用するときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON (または ACC) にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、DSP、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。
	◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。



▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。



◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。

デモモードについて

本機には、リバースモードとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

リバースモードについて

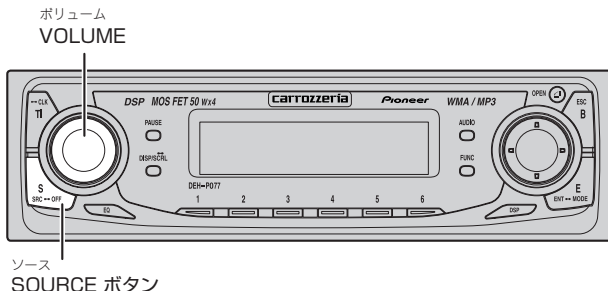
リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON (またはACC) のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、ONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能 (エンターテインメント、DSP、SFCなど) の画面を表示して紹介する機能です。フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときに6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが始まります。車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

- ・ 赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

本機の基本操作



本機の基本操作

電源 ON / ソース選択 / 音量調節 / 電源 OFF

ここだけの操作で、本機を使用することができます。

1 SOURCE ボタンを押して、電源を入れる

本機の電源がONになります。

- CDをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。(14ページ)



2 SOURCE ボタンを押して、ソース (音源) を切り換える

ボタンを押すごとに、次のようにソースが切り換わります。

ラジオ (FM/AM) → テレビ (別売) → 1 枚型 DVD (別売)/マルチ DVD (別売) → 内蔵 CD → マルチ CD (別売) → 1 枚型 MD (別売) → マルチ MD (別売) → External1 (エクスターナルユニット1) (別売) → External2 (エクスターナルユニット2) (別売) → AUX (外部機器) (別売) → ラジオ (FM/AM) に戻る



再生経過時間 曲番号

3 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

4 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき



0~40の範囲で調整できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 SOURCE ボタンを1秒以上押して、電源を切る

電源がOFFになります。

テレビ、1枚型MD、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。テレビ(例：「AVX-P777」)、1枚型MD(例：「MDS-P7000」)、マルチMD(例：「MD-P100II」)の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

1枚型DVD、マルチDVDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。1枚型DVD(例：「SDV-P7」)、マルチDVD(例：「XDV-P9II」)の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。マルチDVDでCDを再生しているときは、ITS機能(46ページ)とディスクタイトル機能(50ページ)を使うことができます。操作は、マルチCDと同じです。

再生するディスクの種類によってファンクションモード切り換えが異なります。本機のFUNCTIONボタンを押すごとに以下のように切り換わります。

■ DVDを再生するとき

リピートモード → ポーズモード → リピートモードに戻る

■ ビデオCDを再生するとき

リピートモード → ポーズモード → リピートモードに戻る

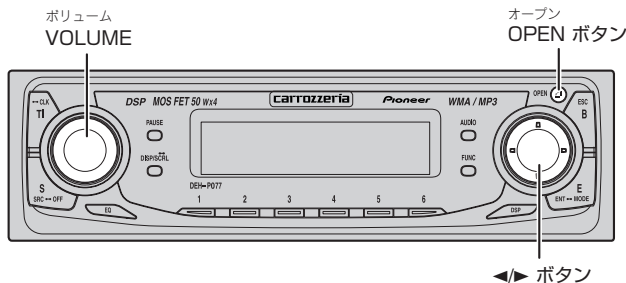
■ CDを再生するとき

リピートモード → ポーズモード → ランダムモード → スキャンモード

→ ITS再生モード(マルチDVDのみ) → リピートモードに戻る

- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
- ・ DISCがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線(オートアンテナ)に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- ・ External(エクスターナルユニット)とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品(将来発売される製品など)の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal(エクスターナルユニット)をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されます。2台のExternal(エクスターナルユニット)を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。
- ・ AUX(外部機器)の設定(78ページ)をONにしないと、AUXには切り換わりません。

内蔵CDでCDを聞く

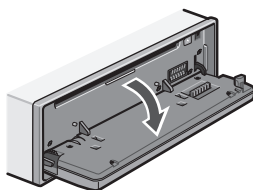


内蔵CDの基本操作

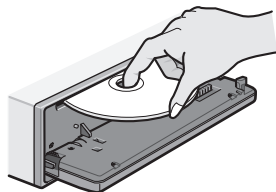
CDセット / 選曲 / 早送り・早戻し / CDイジェクト

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

- 1 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



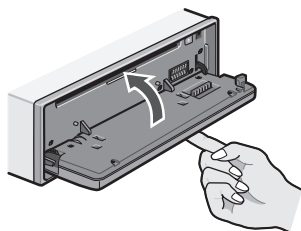
- 2 タイトル面を上にして、CDをCD挿入口に差し込む



- ・ CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 3 フロントパネルを閉める
CDの再生が始まります。

- 「CD TEXT」の場合、セットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトル、曲名を自動的に1回スクロール表示します。



4 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し ^{*1}	0.5秒以上押し続けている間

- 「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

^{*1} 選局方法をROUGH SEARCHに設定した場合は、ラフサーチ (20ページ) になります。

5 VOLUME を押す

- 押すと手前に出てきます。
- もう一度押すと、元に戻ります。

6 VOLUME を回して、音量を調節する

- 右回し：大きくするとき
- 左回し：小さくするとき

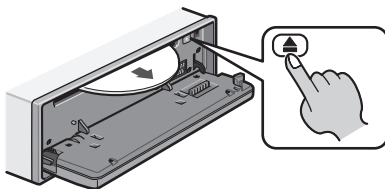


0~40の範囲で調整できます。
約4秒間、音量が表示されます。

7 OPEN ボタン、EJECT ボタンを押して、CDを取り出す

CDが出てきます。

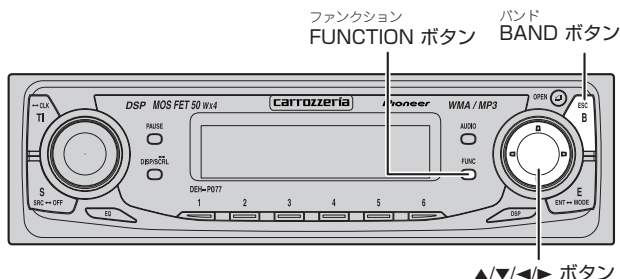
- 出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。



8 フロントパネルを閉める

- CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

- ・ CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやマルチCDなど) に切り換えることもできます。(12ページ)
- ・ CDを挿入すると、本機はCDからファイル形式などの情報を読みとります。この間、“Format Read” が表示されます。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

■ ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- リピートモード (17ページ) → ランダムモード (17ページ)
- スキャンモード (18ページ) → ポーズモード (19ページ)
- 選曲方法切り換えモード (19ページ) → TAG表示モード (32ページ)
- リピートモードに戻る

- ・ 音楽データを再生している場合、TAG表示をON/OFFしても効果はありません。(32ページ)
- ・ ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、リピート再生を ON にする

今聞いている曲を繰り返し再生します。

▼ ボタンで OFF になります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



リピート再生中に表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲を CD プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ランダム再生を ON にする

次の曲から、ランダムに選曲します。

▼ ボタンで OFF になります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ランダム再生中に表示されます。

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONにする

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



- スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

- 3** 聞きたい曲が再生されたら、スキャンモードにしてから、▼ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする



- ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・ スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ポーズをONにする
CD再生が一時停止します。
▼ ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

・ 本機のPAUSE ボタンを押しても、ポーズをON/OFFすることができます。

選曲方法を切り換える

◀または▶ ボタンを0.5秒以上押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、選曲方法切り換えモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、選曲方法を選ぶ

▶ : ROUGH SEARCH (ラフサーチ) を選ぶとき

◀ : FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているディスクのときに、聞きたい曲をだまかにさがすことができます。

1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選んでおく (19ページ)

2 ◀または▶ ボタンを0.5秒以上押し続け、聞きたい曲を選ぶ

- ▶ : 10曲先のトラックを選ぶとき
- ◀ : 10曲前のトラックを選ぶとき



曲番号

- ・ 10曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

CDのタイトルを入力し、表示させることができます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルの入力のしかた (50ページ)、タイトルの表示のしかた (52ページ) は、マルチCDと同じです。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- 内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。
- タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

■マルチCDを組み合わせて使用する場合

- タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。
- マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルや曲名などを表示させることができます。一度に16文字(全角の場合は8文字)まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

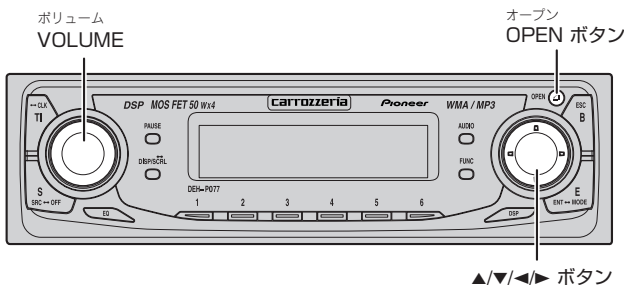
「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



- タイトル表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。(52ページ)
- 本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなくひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

WMA/MP3を聞く

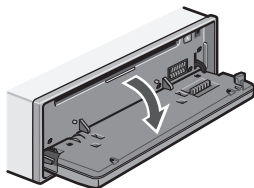


WMA/MP3の基本操作

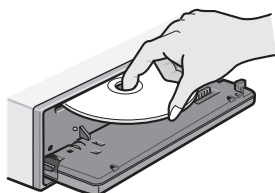
CD-ROM セット / フォルダ選択 / 選曲 / 早送り・早戻し / CD-ROM イジェクト

ここだけの操作で、WMA や MP3 を聞くことができます。再生できる WMA や MP3 については (88 ページ)。

- 1 OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



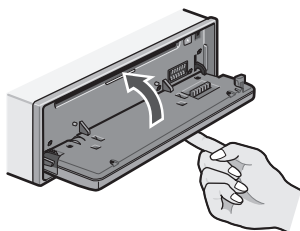
- 2 タイトル面を上にして、CD-ROM を CD 挿入口に差し込む



・ CD 挿入口には、CD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

- 3 フロントパネルを閉める
CD-ROM の再生が始まります。

- CD-ROM をセットしたときや、他のソースから WMA/MP3 に切り換えたときに、フォルダ名、ファイル名を自動的に 1 回スクロール表示します。



4 ▲または▼ボタンを押して、聞きたいフォルダーを選ぶ

ボタンを押すごとに、フォルダー番号の順に、フォルダーを選ぶことができます。

- BAND ボタンを2秒以上押すと、フォルダー01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。



フォルダー番号

5 ◀または▶ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し ^{*1}	0.5秒以上押し続けている間

- 曲を選んだときに、ファイル名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。
- WMA/MP3 ファイルの早送り/早戻しをしているときは、音は出力されません。

*1 選曲方法をROUGH SEARCHに設定した場合は、ラフサーチ (31ページ) になります。

6 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

次ページへつづく

7 VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき
左回し：小さくするとき

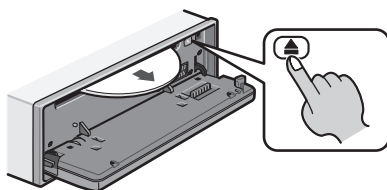


0~40の範囲で調整できます。
約4秒間、音量が表示されます。

8 OPEN ボタン、EJECT ボタンを押して、CD-ROMを取り出す

CD-ROMが出てきます。

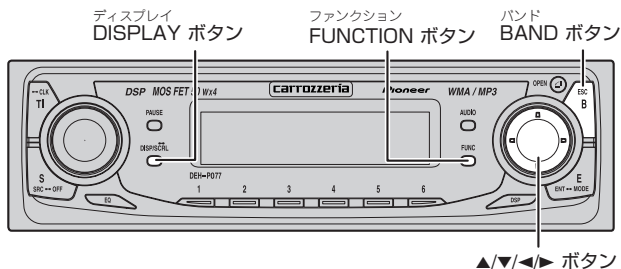
- 出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。



9 フロントパネルを閉める

- CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

- ・ CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやマルチCDなど）に切り換えることもできます。（12ページ）
- ・ CD-ROMを挿入すると、本機はCDからファイル形式などの情報を読みとります。この間、“Format Read”が表示されます。
- ・ VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- ・ WMA/MP3ファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合は、BANDボタンを押して、WMA/MP3ファイルと、音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3ファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

■ ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード (26ページ) → ランダムモード (27ページ)
- スキャンモード (28ページ) → ポーズモード (29ページ)
- フォルダーリストモード (30ページ) → 選曲方法切り換えモード (31ページ)
- TAG表示モード (32ページ) → リピートモードに戻る

- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)



同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のCD-ROMを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



DISC (ディスクリピート) → TRK (トラックリピート) → FOLDER (フォルダーリピート) → DISCに戻る

- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



トラックリピートのときは“TRACK”、フォルダーリピートのときは“FOLDER”が表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

1 リpeatモードにして、再生範囲を選ぶ (26ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲から、ランダムに選曲します。

▼ボタンでOFFになります。



4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示	再生範囲
RANDOM	ディスクリピート
F.RANDOM	フォルダーリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダーの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (26ページ)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、フォルダー
リピートにする

再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ
再生することができます。

■ 聞きたいフォルダーをさがすとき (フォルダースキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、ディスク
リピートにする

再生中のディスク内すべてのフォルダーの1
曲目だけを、約10秒ずつ再生することが
できます。

2 FUNCTION ボタンを押して、スキャン モードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONに する

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



- スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。

表示	再生範囲
F.SCAN	ディスクリピート
T.SCAN	フォルダーリピート



スキャン再生中に表示されます。

- 4** 聞きたい曲（フォルダー）が再生されたら、スキャンモードにしてから、▼ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする



- ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

- 5** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピート有的时候に、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

WMA/MP3 再生を一時停止する

ポーズ

WMA/MP3 再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、ポーズをONにする
WMA/MP3 再生が一時停止します。

▼ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

- ・ 本機のPAUSEボタンを押しても、ポーズをON/OFFすることができます。

タイトルを見て聞きたいフォルダーをさがす

フォルダーリスト

フォルダーのタイトルから、聞きたいフォルダーを選ぶことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、フォルダーリストモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、聞きたいフォルダーを選ぶ

- ▶ : 次のフォルダーのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のフォルダーのタイトルを表示させるとき



フォルダー内にWMA/MP3ファイルが収録されているときに表示されます。

記憶されているタイトルが表示されます。

- 3** ▲ ボタンを押して、選んだフォルダーを再生する

選んだフォルダーが再生されます。

- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



- ・ 選んだフォルダ内にWMA/MP3ファイルが収録されていないときは、“NO FILES”と約2秒間表示されます。

選曲方法を切り換える

◀または▶ ボタンを0.5秒以上押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、選曲方法切り換えモードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、選曲方法を選ぶ

- ▶ : ROUGH SEARCH (ラフサーチ) を選ぶとき
- ◀ : FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

フォルダー内の曲を10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。多くの曲を収録しているフォルダーのときに、聞きたい曲を大まかにさがすことができます。

- 1 選曲方法切り換えモードにして、ラフサーチを選んでおく

- 2 ◀または▶ ボタンを0.5秒以上押し続けて、聞きたい曲を選ぶ

- ▶ : 10曲先のトラックを選ぶとき
- ◀ : 10曲前のトラックを選ぶとき



曲番号

- ・ 10曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

TAG 表示を ON/OFF する

曲名やアーティスト名などの文字情報を収録したディスクを再生している場合、ID3 tag や WMA tag の表示を ON/OFF することができます。

- ID3 tag の表示を OFF にすると、ON にしている場合に比べ、曲を切り換えたときに再生が始まるまでの時間が短くなります。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、TAG 表示モードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、TAG 表示を ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・ TAG 表示を ON にすると、文字情報を読み込むために、聞いている曲の始めに戻ります。

WMA/MP3のタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

WMA/MP3 ファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報などを表示させることができます。一度に16文字(全角の場合は8文字)まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

■ 表示切り換え

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 再生経過時間表示 → フォルダー名 (Folder Name) → ファイル名 (File Name)
- 曲名 (Track Title) → 歌手名 (Artist Name) → アルバム名 (Album Title)
- コメント (Comment) → ビットレート表示 → 再生経過時間表示に戻る



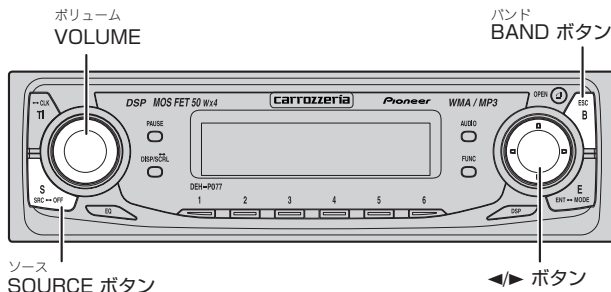
■ 隠れている文字を表示する

1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルをスクロール表示する



- ・ TAG 表示 (32 ページ) が OFF になっているときは、曲名 (Track Title)、歌手名 (Artist Name)、アルバム名 (Album Title)、およびコメント (Comment) には切り換わりません。
- ・ 曲名 (Track Title) などが収録されていない CD-ROM で表示を切り換えると "No Track Title" などが表示されます。
- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

ラジオを聞く



ラジオの基本操作

バンド切り換え / 選局

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 SOURCE ボタンを押して、ソースをラジオにする

ステレオ放送を受信すると表示されます。



放送局名

2 BAND ボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2
→ FM1 に戻る

- バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(36、37ページ)
- バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSM (36ページ) を使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。



バンド

3 ◀または▶ ボタンを押して、放送局を選ぶ

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1 ステップずつ)	0.5 秒未満
自動選局	0.5 秒以上

- 0.5 秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 VOLUME を押す

押すと手前に出てきます。
もう一度押すと、元に戻ります。

5 VOLUME を回して、音量を調節する

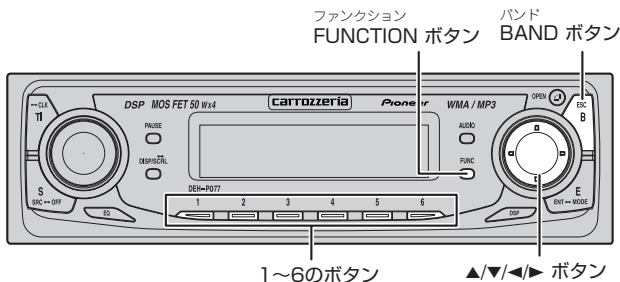
右回し : 大きくするとき
左回し : 小さくするとき



0~40の範囲で調整できます。
約4秒間、音量が表示されます。

6 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにして、ラジオの受信をやめる (12 ページ)

- ・ 本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(39 ページ)



複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (34 ページ)

2 FUNCTION ボタンを押して、BSMモードにする



3 ▲ ボタンを押して、BSMを始める

記憶が終わると点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

▼ ボタンで途中解除できます。



4 BAND ボタンを押して、BSMモードを解除する



- ・ 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・ BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- ・ 記憶させた放送局を呼び出すには (38 ページ)。
- ・ BSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ (34 ページ)

2 ◀または▶ ボタンを押して、記憶させたい放送局を選ぶ (35 ページ)

3 1～6のボタンの1つを2秒以上押して、記憶させる

押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

- 記憶が終わると点滅が止まり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。



- ・ 記憶させた放送局を呼び出すには (38 ページ)。

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

■ 記憶させた放送局を直接呼び出すとき

- 1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (34 ページ)
- 2 1～6 のボタンの 1 つを押して、記憶させた放送局を直接呼び出す



■ 記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

- 1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ (34 ページ)
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、記憶させた放送局を順に呼び出す
 - ▲ : 次の記憶番号の放送局名を呼び出すとき
 - ▼ : 前の記憶番号の放送局名を呼び出すとき



放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なります。表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合、放送局名を変更することができます。

・本機に登録されていない放送局名は選べません。

1 実際の放送局名と表示が異なる場合、FUNCTION ボタンを2秒以上押して、放送局名選択モードにする

- 現在受信している周波数以外の放送局名を変更することはできません。別の周波数の放送局名を変更したい場合、その周波数を受信して(35ページ)から放送局名選択モードにしてください。



2 ◀または▶ ボタンを押して、放送局名を選ぶ

- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



3 ▲ ボタンを押して、放送局名を変更する

選んだ放送局名に変更されます。



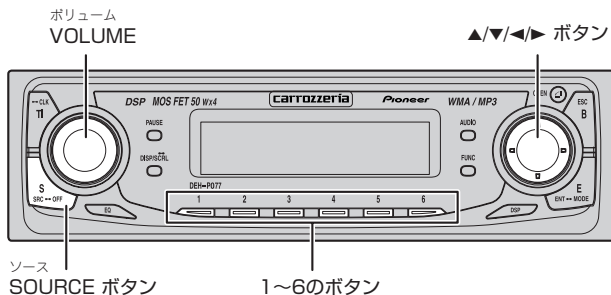
4 BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除する



- ・ 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“No Data”と表示されます。
- ・ 放送局名を表示させたくないときは、“_____” (全て空白) を選んでください。
- ・ パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- ・ パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの場合、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“TVsound”に変更して表示することができます。

ラジオを聞く

マルチ CD で CD を聞く



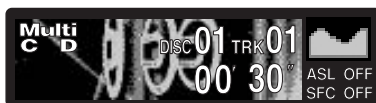
マルチ CD の基本操作

ディスク選択 / 選曲 / 早送り・早戻し

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 SOURCE ボタンを押して、ソースをマルチCDにする

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしているときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。



2 ▲または▼ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶ

- ▲ : 次のCDを選ぶとき
- ▼ : 前のCDを選ぶとき
- 1~6のボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7~12枚目のCDを選ぶ場合、1~6のボタンを2秒以上押します。



CD番号

3 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。

4 VOLUME を押す

- 押すと手前に出てきます。
- もう一度押すと、元に戻ります。

5 VOLUME を回して、音量を調節する

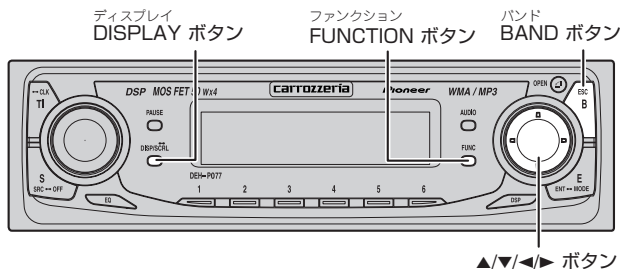
- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき



0~40の範囲で調整できます。
約4秒間、音量が表示されます。

6 他のソースに切り換えるか、電源をOFFにして、マルチCDの再生をやめる (12ページ)

- ・ マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。
- ・ マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No Magazine”が表示されます。



モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

■ ファンクションモードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- リピートモード (43 ページ) → タイトルリストモード (53 ページ)
- ランダムモード (44 ページ) → スキャンモード (44 ページ)
- ITS 再生モード (47 ページ) → ポーズモード (54 ページ)
- COMP 切り換えモード (55 ページ) → リピートモードに戻る



- ・ ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

■ 詳細設定モードの切り換え

1 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- タイトル入力モード (50 ページ) → ITS 入力モード (46 ページ)
- タイトル入力モードに戻る



- ・ 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

同じ曲や CD を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1 枚の CD を繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中の CD を繰り返し再生します。
マルチ CD リピート	マルチ CD に入っている全ての CD を通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



MCD (マルチ CD リピート) → TRK (トラックリピート) → DISC (ディスクリピート)
→ MCD に戻る

3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



トラックリピートのときは「TRACK」、ディスクリピートのときは「DISC」が表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (43ページ)

選んだ再生範囲内で、ランダム再生が行われます。

2 FUNCTION ボタンを押して、ランダム モードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生をONに する

次の曲から、ランダムに選曲します。

▼ ボタンでOFFになります。



4 BAND ボタンを押して、ファンクション モードを解除する

表示	再生範囲
D.RANDOM	ディスクリピート
RANDOM	マルチCDリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

聞きたい曲やCDをさがす

スキャン再生

今聞いているCDの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (43ページ)

■ 聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、ディスク
リピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生
することができます。

■ 聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、マルチCD
リピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲
目だけを、約10秒ずつ再生することができ
ます。

2 FUNCTION ボタンを押して、スキャン
モードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、スキャン再生をONに
する

曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的
にファンクションモードが解除されます。

表示	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート
D.SCAN	マルチCDリピート



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら、スキャ
ンモードにしてから、▼ ボタンを押して、
スキャン再生をOFFにする

- ファンクションモードが解除されていたら、手
順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにし
てから、スキャン再生をOFFにしてください。



5 BAND ボタンを押して、ファンクション
モードを解除する

- ・ スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキャン再生します。

聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS 記憶

記憶させた曲だけ再生する (47 ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチ CD に記憶させておきます。

ITS について

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション) の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (47ページ) 機能です。

- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル (50ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1** ▲ または ▼ ボタンを押して、記憶させたい CD を再生する (40 ページ)

- 2** FUNCTION ボタンを2秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、ITS 入力モードを選ぶ



- 3** ◀ または ▶ ボタンを押して、記憶させたい曲を選ぶ (41 ページ)



- 4** ▲ ボタンを押して、記憶させる



- 5** BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 記憶 (46 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (43 ページ)

選んだ再生範囲内で、ITS 再生が行われます。

2 FUNCTION ボタンを押して、ITS 再生モードを選ぶ



3 ▲ ボタンを押して、ITS 再生を ON にする

ITS 再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

▼ ボタンで OFF になります。



4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ITS再生中に表示されます。

- ・ 手順 1 で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS Empty” が約 2 秒間表示されて、ITS 再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

- 1 ITS再生をONにする
- 2 ◀または▶ ボタンを押して、消去したい曲を再生する (41 ページ)

- 3 FUNCTION ボタンを2秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、ITS 入力モードを選ぶ



- 4 ▼ ボタンを押して、消去する
再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。



- 5 BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

- ・ 現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS Empty” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

- 1 ▲ または ▼ ボタンを押して、消去したいCDを再生する (40ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(47ページ)

- 2 FUNCTION ボタンを2秒以上押してからFUNCTION ボタンを押して、ITS入力モードを選ぶ



- 3 ▼ ボタンを押して、消去する



- 4 BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルはディスプレイに表示させることができます。(52ページ)

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト(53ページ)で聞きたいCDをさがすこともできます。「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト(53ページ)をすることができます。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- 記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、CD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 ▲または▼ボタンを押して、タイトルを入力したいCDを再生する(40ページ)

2 FUNCTION ボタンを2秒以上押して、タイトル入力モードにする

- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)



3 タイトルを入力する

■ 入力する位置を選ぶ

◀または▶ボタンを押して、入力したい位置にカーソルを移動させる

押すごとに、カーソルが右に移動します。

入力する位置でカーソルが点滅します。



■ 入力する文字を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押して、入力したい文字を選ぶ

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白()
2ボタン	アルファベットの大文字 (A~Z)、数字(0~9)、 記号(! " # など)、 空白()
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ(ア~ン)、 音引き(ー)、 空白() 拗促音、濁点、半濁点 (アイウエオヤユヨツ °)、 空白()

4 10文字目まで入力する

余ったところは空白のまま、▶ ボタンを押して、10文字目を点滅させます。



5 ▶ ボタンを押して、入力したタイトルを記憶させる

入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。



6 BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

- ・ タイトル入力中(文字が点滅しているとき)にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (50 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示 → ディスクタイトル (Disc Title) → 再生経過時間表示に戻る

- ・ タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“No Title”が表示されます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているとき、ディスクタイトル (ディスク名)、ディスクアーティスト (歌手名) などを表示させることができます。一度に16文字 (全角の場合は8文字) まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



- 本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなくひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

■ 表示切り換え

1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示 → ディスクタイトル (Disc Title) → ディスクアーティストネーム (DiscArtist Name) → トラックタイトル (Track Title) → トラックアーティストネーム (TrackArtist Name) → 再生経過時間表示に戻る



■ 隠れている文字を表示する

1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルを表示する

隠れている文字が順に表示されます。



- ・ トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“No T-Artist Name” などが表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルから、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 FUNCTION ボタンを押して、タイトルリストモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶ

▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき

記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。



次ページへつづく

- 3** ▲ ボタンを押して、選んだCDを再生する
選んだCDが再生されます。

- 4** BAND ボタンを押して、ファンクション
モードを解除する



CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズ
モードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ポーズをONにする
CD再生が一時停止します。
▼ ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクション
モードを解除する



一時停止中に表示されます。

・ 本機のPAUSE ボタンを押しても、ポーズをON/OFFすることができます。

CDの音質を調節する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

・ COMP/DBEに対応しているマルチCDの機能です。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 FUNCTION ボタンを押して、COMP切り換えモードを選ぶ

現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

- COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示され、操作できません。



2 ▲または▼ボタンを押して、機能を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

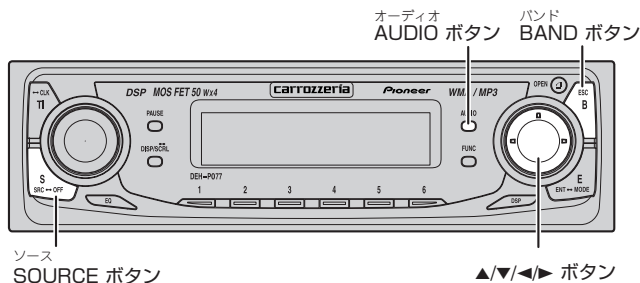


Comp. OFF → Comp. 1 (コンプレッション1) → Comp. 2 (コンプレッション2)
→ Comp. OFF → DBE 1 → DBE 2 → 最初のComp. OFFに戻る

3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・ COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

音を調節する



調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。RCA 外部出力の設定 (80 ページ) により、モードの切り換わり方が変わります。

■ RCA 外部出力がサブウーファー出力 “PREOUT :S/W” のとき

1 AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- 音量バランス調節モード (58 ページ) → ラウドネスモード (58 ページ)
- サブウーファーモード (59 ページ) → サブウーファー調節モード*¹ (59 ページ)
- サブウーファースロープ調節モード*¹ (59 ページ)
- ハイパスフィルターモード (フロント) (61 ページ)
- ハイパスフィルタースロープ調節モード (フロント)*² (61 ページ)
- ハイパスフィルターモード (リア) (61 ページ)
- ハイパスフィルタースロープ調節モード (リア)*³ (61 ページ)
- 音量バランス調節モードに戻る

・ オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

*¹ サブウーファーモード (59 ページ) を OFF にした場合は、サブウーファー調節モード、サブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。

*² ハイパスフィルターモード (フロント) (61 ページ) が OFF の場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード (フロント) には切り換わりません。

*³ ハイパスフィルターモード (リア) (61 ページ) が OFF の場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード (リア) には切り換わりません。

■ RCA外部出力がノンフェーディング出力“PREOUT :FULL”のとき

1 AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- 音量バランス調節モード (58 ページ) → ラウドネスモード (58 ページ)
- ノンフェーディングモード (63 ページ)
- ノンフェーディング調節モード*⁴ (63 ページ)
- ハイパスフィルターモード (フロント) (61 ページ)
- ハイパスフィルタースロープ調節モード (フロント)*² (61 ページ)
- ハイパスフィルターモード (リア) (61 ページ)
- ハイパスフィルタースロープ調節モード (リア)*³ (61 ページ)
- 音量バランス調節モードに戻る

- ・ オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- *² ハイパスフィルターモード (フロント) (61 ページ) が OFF の場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード (フロント) には切り換わりません。
- *³ ハイパスフィルターモード (リア) (61 ページ) が OFF の場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モード (リア) には切り換わりません。
- *⁴ ノンフェーディングモード (63 ページ) を OFF にした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、音量バランス調節モードを選ぶ



- 2** ▲または▼ボタンを押して、前後の音量バランスを調節する

- ▲：前を強めるとき
- ▼：後ろを強めるとき



前後のバランスは、F25～R25の範囲で調節できます。

- 3** ◀または▶ボタンを押して、左右の音量バランスを調節する

- ▶：右を強めるとき
- ◀：左を強めるとき



左右のバランスは、L25～R25の範囲で調節できます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ラウドネスモードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、ラウドネスをONにする

- ▼ボタンでOFFになります。



- B** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA 出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は初期設定で ON になっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。

車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。

車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

スロープについて

スロープ(減衰の傾き)を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、サブウーファーモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、サブウーファーを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



- 3** ◀ または ▶ ボタンを押して、位相を切り換える

▶ : Normal (正相) を選ぶとき

◀ : Rev. (逆相) を選ぶとき



4 AUDIO ボタンを押して、サブウーファー調節モードを選ぶ



5 カットオフ周波数とレベルを調節する

■ 周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125 (Hz)の中から選ぶことができます。

■ レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



-24~+6の範囲で調節できます。

6 AUDIO ボタンを押して、サブウーファースロープ調節モードを選ぶ



7 ◀または▶ ボタンを押して、スロープを切り換える

▶ : 18dB (18 dB/oct.)

◀ : 12dB (12 dB/oct.)



8 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ RCA 外部出力の設定 (80 ページ) をノンフェーディングにした場合は、サブウーファーの調節はできません。
- ・ サブウーファー機能を OFF にした場合は、サブウーファー調節モード、サブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

フロントスピーカーとリアスピーカーで別々に調節することができます。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125 (Hz) から選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

スロープについて

スロープ (減衰の傾き) を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

1 AUDIO ボタンを押して、ハイパスフィルターモードを選ぶ

F-HPF : フロントスピーカーを調節するとき

R-HPF : リアスピーカーを調節するとき



2 ▲ ボタンを押して、ハイパスフィルターをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



3 ◀ または ▶ ボタンを押して、カットオフ周波数を選ぶ

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。



50、63、80、100、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

次ページへつづく

4 AUDIO ボタンを押して、ハイパスフィルタースロープ調節モードを選ぶ

F-SLP : フロントスピーカーを調節するとき

R-SLP : リアスピーカーを調節するとき

**5** ◀または▶ ボタンを押して、スロープを調節する

▶ : 6dB (6 dB/oct.)

◀ : 12dB (12 dB/oct.)

**6** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ ハイパスフィルター機能をOFFにした場合は、ハイパスフィルタースロープ調節モードには切り換わりません。

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルター（サブウーファー）を通さずに、原音のままRCA出力から音声信号を出力することができます。また、その出力レベルを調節することもできます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディングモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ノンフェーディングをONにする
▼ ボタンでOFFになります。



- 3** AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディング調節モードを選ぶ



- 4** ▲ または ▼ ボタンを押して、レベルを調節する
▲ : レベルを大きくするとき
▼ : レベルを小さくするとき



-24~+6の範囲で調節できます。

- 5** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ RCA 外部出力の設定 (80 ページ) をサブウーファーにした場合は、ノンフェーディングの調節はできません。
- ・ ノンフェーディングをOFFにした場合は、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、FMを受信し、FMの音量を確かめる (34 ページ)

- 2 SOURCE ボタンを押して、調節したいソースに切り換える (12 ページ)

- 3 AUDIO ボタンを2秒以上押して、SLAモードを選ぶ



- 4 ▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

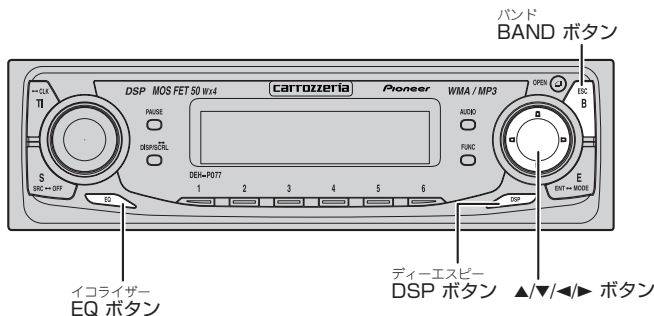


−4～+4の範囲で調節できます。

- 5 BAND ボタンを押して、SLAモードを解除する

- ・ SLAとはSource Level Adjuster (ソース レベル アジャスター) の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。
- ・ AM、テレビ、DVD、CD、MD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (75 ページ) は同じ設定になります。

音場と音質を調節する



モードの切り換えかた

DSPの機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP調節モードに切り換えて操作します。

1 DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- SFCモード → グラフィックイコライザーモード (69ページ)
- イコライザー調節モード (70ページ)
- リスニングポジションセレクターモード (72ページ) → ASLモード (73ページ)
- SFCモードに戻る

- ・ DSP 調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

イメージに合った演奏会場を再現する

SFC / BBE

SFC で実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、BBE ではレベルの調節をすることができます。

SFC について

SFCとはSound Field Control (サウンド フィールド コントロール) の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。STUDIOやCLUBなど、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

BBEについて

BBEは、音楽再生時に発生する高調波成分の遅延、振幅の狂いを位相補正と高域ブーストを組み合わせて修復することで、極めて原音に近い再生音にすることができます。このため、鮮明度が高く、ライブ演奏に近い自然な臨場感を再現することができます。

1 DSP ボタンを押して、SFCモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、音場プログラムを呼び出す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SFC OFF → STUDIO → JAZZ CLUB → CLUB → BBE → SFC OFFに戻る



3 BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する



選んだプログラムが表示されます。

■ 手順2でBBEを選んだとき

3 ▲または▼ ボタンを押して、BBEのレベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



-4~+4の範囲で調節できます。

4 BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する

- この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CSTM (CUSTOM)について

“CSTM (CUSTOM)”には、お好みに合わせて調節することができます。(70ページ)

FLATについて

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

■ EQ ボタンで選ぶとき

1 EQ ボタンを押して、イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

POWERFUL → NATURAL → VOCAL → CUSTOM1 → CUSTOM2 → FLAT
→ SUPER BASS → POWERFUL に戻る



■ DSP 調節モードで選ぶとき

1 DSP ボタンを押して、グラフィックイコライザーモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、イコライザーカーブを呼び出す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

PWRFL (POWERFUL) ↔ NATURL (NATURAL) ↔ VOCAL ↔ CSTM1 (CUSTOM1) ↔ CSTM2 (CUSTOM2) ↔ FLAT ↔ S.BASS (SUPER BASS)



3 BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

- 1** DSP ボタンを押して、グラフィックイコライザーモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、補正したいイコライザーカーブを呼び出す

- FLAT および、すべての周波数が“0”に設定されている CSTM1 (CUSTOM 1)、CSTM2 (CUSTOM 2) を補正することはできません。



- 3** ▲または▼ ボタンを押して、イコライザーカーブを補正する

▲：効果を強めるとき

▼：効果を弱めるとき

- S.BASS (SUPER BASS) と CSTM1 (CUSTOM 1)、CSTM2 (CUSTOM 2) は -6 ~ +6 の範囲で調節できます。ただし、CSTM (CUSTOM) に記憶されているカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。



-6 ~ +6 の範囲で調節できます。

- 4** BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

CSTM1 (CUSTOM 1) について

“CSTM1 (CUSTOM 1)”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDおよびエクスターナル1とエクスターナル2は同じ設定になります。)また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容が呼び出されます。

“CSTM2 (CUSTOM 2)”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、調整したカーブが“CSTM1 (CUSTOM 1)”に記憶されます。

CSTM2 (CUSTOM 2) について

“CSTM2 (CUSTOM 2)”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

“CSTM2 (CUSTOM 2)”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CSTM2 (CUSTOM 2)”として記憶されます。

- 1** DSP ボタンを押して、グラフィックイコライザーモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、補正したいイコライザーカーブを呼び出す



- 3** DSP ボタンを押して、イコライザー調節モードを選ぶ



4 各周波数ごとのレベルを調節する

■ 周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、100、200、400、800、1.6k、3.15k、6.3k、12.5k (Hz) の中から選ぶことができます。

■ レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



-6~+6の範囲で調節できます。

5 BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する

音場の中心で聞く

リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて

リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。



乗車位置について



FRONT RIGHT



FRONT LEFT



FRONT



ALL

表示	乗車位置
FRONT RIGHT	右ハンドル車に運転者だけがいるとき
FRONT LEFT	左ハンドル車に運転者だけがいるとき
FRONT	同乗者が助手席にいるとき
ALL	同乗者が後部座席にいるとき

- 1 DSP ボタンを押して、リスニングポジションセクターモードを選ぶ



- 2 ▲、▼、◀、▶ ボタンを押して、乗車位置を選ぶ

ボタンを押すごとに ON/OFF します。

- ▶ : FRONT RIGHT
- ◀ : FRONT LEFT
- ▲ : FRONT
- ▼ : ALL



3 BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する

・リスニングポジションごとに、音量バランス (58 ページ) を記憶させることができます。

騒音に合わせて音量を変える

ASL

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

ASL について

ASL とは、Automatic Sound Levelizer (オートマチック サウンド レベライザー) の略です。

ASL は、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

1 DSP ボタンを押して、ASL モードを選ぶ



2 ▲ ボタンを押して、ASL を ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



3 ◀ または ▶ ボタンを押して、ASL の感度を選ぶ



LOW、MID-L、MID、MID-H、HIGH の中から選ぶことができます。

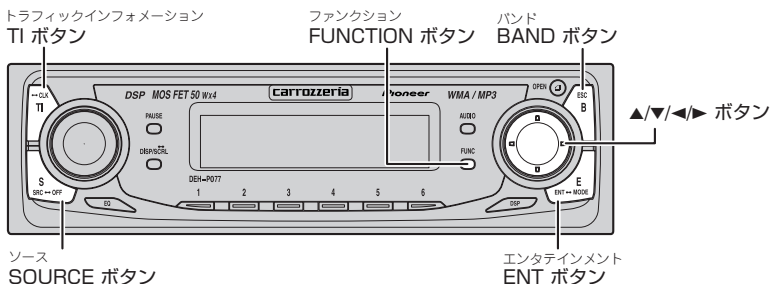
4 BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除する



ASL が ON のとき ASL インジケータが表示されます。ASL の効果量は、効果量インジケータで表示されます。

・音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。
・この機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときは VOLUME で音量を下げてください。

その他の機能と付録



瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

- 1 リモコンのATT ボタンを押して、瞬時に音量を小さくする (7ページ)

音量が約 1/10 になります。

もう一度押すと、OFF になります。



アッテネーターがONのときに点滅します。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのとき、または電源がOFFでフィーチャーデモ (11ページ) を解除しているときに、時計を表示させることができます。

- 1 TI ボタンを2秒以上押して、時計を表示する

もう一度2秒以上押すと、OFF になります。



時計表示

- ・ 本機の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。
- ・ 時計を合わせるには (77ページ)

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 TI ボタンを押して、交通情報を受信する

AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。



2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 1,629 kHzを選ぶとき

◀ : 1,620 kHzを選ぶとき



受信周波数

3 TI ボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- ・ この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- ・ 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- ・ 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。
- ・ 交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 SOURCE ボタンを1秒以上押して、電源をOFFにする

2 電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押して、初期設定モードに切り換える



初期設定モードに切り換わります。

3 FUNCTION ボタンを押して、初期設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

時計調節モード (77ページ) → AUX (外部機器) モード (78ページ)
 → ディマーモード (79ページ) → ブライトモード (80ページ) → RCA 外部出力モード (80ページ) → デジタルアッテネーターモード (81ページ) → ミュート/アッテネートモード (82ページ) → モーションモード (83ページ) → 時計調節モードに戻る

- ・ 初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源がOFFになります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

- 1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押して、時計調節モードを選ぶ



- 2 時計を設定する

■ 時または分を選ぶ

◀または▶ボタンを押して、時または分を選ぶ

押すごとに、時または分が切り換わります。



■ 時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押して、時刻を合わせる

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき

● 分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



- 3 BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、AUX (外部機器) モードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、AUX (外部機器) の設定を ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



- 3 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (12 ページ)

ソースを AUX に切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (12 ページ)



- 2 FUNCTION ボタンを2秒以上押して、外部機器の名称入力モードを選ぶ



- 3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CD タイトル入力の手順 3～6 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(50 ページ)

外部機器の名称は、8 文字まで入力することができます。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトを ON にするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

- 1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、ディマーモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ディマーを ON にする
▼ ボタンで OFF になります。



- 3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

ディスプレイの明るさを調節する

ブライツ

ディスプレイの明るさを調節することができます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、ブライツモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ボタンを押して、出力方法を設定する

- ▶ : 明るくしたいとき
- ◀ : 暗くしたいとき



0~15の範囲で調節できます。

- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

RCA外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続してサブウーファーを使用する場合、本機でサブウーファーを調節するか、外部アンプでサブウーファーを調節するために原音のまま出力するかを選ぶことができます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、RCA外部出力モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ボタンを押して、出力方法を設定する

- ▶ : (FULL) 原音のまま出力するとき (フルレンジ出力)
- ◀ : (S/W) 本機でサブウーファーを調節するとき (サブウーファー出力)



3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・ 出力方法を“FULL”に設定したときは、ノンフェーディングの設定(57ページ)をしてください。
- ・ 出力方法を“S/W”に設定したときは、サブウーファーの設定(56ページ)をしてください。

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの調節(70ページ)による音の歪みをなくすることができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を“Low”に切り換えてください。

1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、デジタルアッテネーターモードを選ぶ



2 ◀または▶ ボタンを押して、設定を選ぶ

- ▶ : Highを選ぶとき
- ◀ : Lowを選ぶとき



3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

ミュート/アッテネート切り換え

ミュート/アッテネート設定

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートにするかアッテネートするかを選ぶことができます。

ミュート/アッテネート機能について

ミュート機能のあるパイオニア製ナビゲーションシステムと本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っている間だけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- MUTE:音量"0"
- ATT1:もとの音量の約 1/3
- ATT2:もとの音量の約 1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

- 1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、ミュート/アッテネートモードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、信号入力時の設定を選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



MUTE (ミュート) → ATT1 (アッテネート 1) → ATT2 (アッテネート 2)
→ MUTE (ミュート) に戻る

- 3 BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

背景の設定をする

ディスプレイに表示されるソース画面の背景の動画を ON/OFF することができます。OFF にすると、ソースのオープニングアニメーションを表示後しばらくすると背景が消えます。

- 1** 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、モーションモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、モーションの設定を ON にする
▼ ボタンで OFF になります。



- 3** BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・ エンタテインメント表示がソースアイコンディスプレイ以外のときは、背景は消えません。

エンタテインメントを表示する

エンタテインメント表示

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

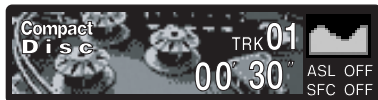
エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、CD やラジオなどを聞いているときに、ディスプレイにいろいろな動画などを表示する機能です。

- 1** ENT ボタンを押して、エンタテインメントを表示する

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- ソースアイコンディスプレイ → ソースアイコンディスプレイ & レベルインジケーター
- BGV1 → BGV2 → スペアナ 1 → スペアナ 2 → レベルインジケーター 1
- レベルインジケーター 2 → マザーアース → エンタテインメントクロック
- ソースアイコンディスプレイに戻る



- ・ BGV とは、Back ground visual (バックグラウンドビジュアル) の略です。

オペレーションモード2で操作する

オペレーションモード2

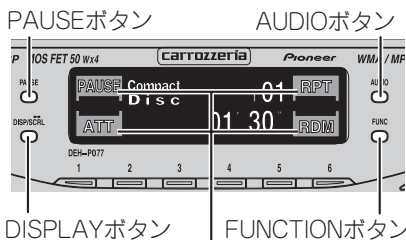
オペレーションモード2に切り換えると、各ソースの代表的な機能の操作を簡単に行うことができます。操作できる機能は、ソースごとに変わります。

オペレーションモード2での操作について

オペレーションモード2に切り換えると、PAUSEボタン、AUDIOボタン、DISPLAYボタン、FUNCTIONボタンで操作できる機能は、オペレーションモード1と異なります。ソースごとに操作できる機能がディスプレイに表示されます。機能が表示されないボタンでは、操作することができません。

1 ENT ボタンを2秒以上押して、オペレーションモード2に切り換える

もう一度ENT ボタンを2秒以上押すとオペレーションモード1に戻ります。



操作できる機能が表示されます。
(例：内蔵CDのとき)

ソースごとの各ボタンの動作は、以下の表のようになります。

■ ラジオのとき

ボタン	操作できる機能
PAUSE ボタン	ラウドネス機能のON / OFF (58ページ)
AUDIO ボタン	—
DISPLAY ボタン	アッテネート機能のON / OFF (74ページ)
FUNCTION ボタン	2秒以上押すとBSM機能のON BSM中に押すと途中解除(36ページ)

■ 内蔵CDのとき

ボタン	操作できる機能
PAUSE ボタン	ポーズ機能のON / OFF (19ページ)
AUDIO ボタン	リピート機能のON / OFF (17ページ)
DISPLAY ボタン	アッテネート機能のON/OFF (74ページ)
FUNCTION ボタン	ランダム機能のON / OFF (17ページ)

■ WMA/MP3 とマルチ CD のとき

ボタン	操作できる機能
PAUSE ボタン	ポーズ機能のON / OFF (29、54 ページ)
AUDIO ボタン	リピート機能の再生範囲の切り換え (26、43 ページ)
DISPLAY ボタン	アッテネート機能のON/OFF (74 ページ)
FUNCTION ボタン	ランダム機能のON / OFF (27、44 ページ)

■ テレビのとき

ボタン	操作できる機能
PAUSE ボタン	ラウドネス機能のON / OFF (58 ページ)
AUDIO ボタン	2 秒以上押すとBSM機能のON BSM中に押すと途中解除(テレビの説明書)
DISPLAY ボタン	アッテネート機能のON / OFF (74 ページ)
FUNCTION ボタン	主音声 / 副音声の切り換え (テレビの説明書)

■ ソース DVD とマルチ DVD のとき

ボタン	操作できる機能
PAUSE ボタン	ポーズ機能のON / OFF (29、54 ページ)
AUDIO ボタン	リピート機能のON / OFF または再生範囲の切り換え (26、43 ページ)
DISPLAY ボタン	アッテネート機能のON / OFF (74 ページ)
FUNCTION ボタン	—

- ・ オペレーションモード2 では、操作できる機能が限られています。すべての機能进行操作するには、オペレーションモード1 に切り換えてください。

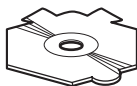
CDの正しい使いかた

■ 使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

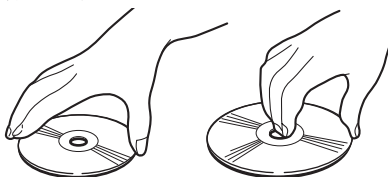


- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）

- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応しておりません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

■ 取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

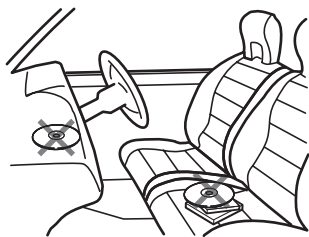


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けないでください。



■ 保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

■ CD再生の環境について

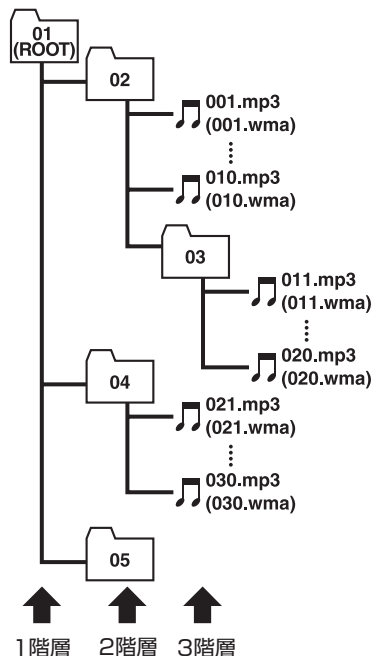
- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

・ 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

WMA/MP3ファイルについて

■ フォルダーとWMAおよびMP3ファイルについて

- WMA および MP3 ファイルを収録した CD-R/CD-RW/CD-ROM のイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA およびMP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(94ページ)
- 本機はマルチセッション (94ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応していません。

- パケットライト (94ページ) には対応していません。
- m3u (94ページ) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma) を含めて32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字までです。
- 拡張フォーマット (Joliet, Romeo) (94ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- ・フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMAおよびMP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMAおよびMP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMAおよびMP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・WMAおよびMP3ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- ・8階層までのWMAおよびMP3ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

■ WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7、7.1 または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。(95 ページ)

- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■ 再生できる WMA ファイルについて

- ・ WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。
- 一般的に WMA ファイルは、ビットレート (94 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、48kbps ~ 192kbps の WMA ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

■ MP3 とは？

- MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(94 ページ)

■ 再生できる MP3 ファイルについて

- ・ MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

- ID3 Tag (94 ページ) の Ver1.0 および Ver1.1 の album (Album Title として表示)、track (Track Title として表示)、artist (Artist Name として表示) の表示に対応しています。
- 32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz です。)
- 一般的に MP3 ファイルは、ビットレート (94 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps ~ 320kbps の MP3 ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

故障かな?と思ったら

故障かな?と と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



チェックしても 直らないときは

「保証書とアフターサービス」(93ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。(「取付説明書」参照)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください。(13ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。(74ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(58ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(58ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(58ページ)

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。	周波数を正しく合わせてください。(35ページ) 他の放送局を選局してみてください。(35ページ)
自動選局できない。	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 放送局の電波が弱い。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。 手動で選局してください。(35ページ)

■ CD、WMA/MP3

症状	原因	処置
CDの再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(87ページ)
CDの再生ができない。	CDにくもりや水滴が付いている。	CDにくもりや水滴をふき取ってください。(87ページ)
	CDの表裏を逆にセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(14、22ページ)

こんなメッセージが表示されたら

■ CD、WMA / MP3 エラー表示

CD、WMA / MP3を正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(87ページ) ディスクを交換してください。
「ERROR-12」 「ERROR-17」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度ディスク再生にしてください。
「ERROR-22」 「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	ディスクを交換してください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	ディスクを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3ファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの説明書をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

用語解説

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3 と WMA のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROM や CD-R、CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROM のファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1 :

ファイル名は、8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“_” で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2 :

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.” と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR (バイバーアール)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7、7.1、または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

おもな仕様

■ CDプレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク

信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16ビット直線

周波数特性 : 5~20,000 Hz (±1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)

ダイナミック
レンジ : 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MP3
デコーディング
フォーマット : MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMA
デコーディング
フォーマット : Ver.7 & 8

■ FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度 : 8 dBf (0.7 μV/75 Ω、
モノラル、S/N : 30 dB)

S/N 50 dB
感度 : 10 dBf
(0.9 μV/75 Ω、モノラル)

S/N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
0.1 %
(65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (±3 dB)

ステレオ

セパレーション : 45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)

実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)

S/N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ オーディオ / DSP 部

最大出力 : 50 W × 4
定格出力 : 22 W × 4
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

負荷
インピーダンス : 4 Ω
(4 ~ 8 Ω使用可能)

プリアウト
最大出力レベル : 1.8V

出力
インピーダンス : 1 kΩ

ラウドネス
コンター : 10 dB (100 Hz)
6.5dB (10 kHz)
(ボリューム : -30 dB)

9バンド
グラフィック
イコライザー : 周波数 : 50/100/200/400/
800/1.6k/3.15k/6.3k
/12.5k Hz
調整幅 : ±12 dB

ネットワーク
ハイパス
フィルター : 周波数 : 50/63/80/100/125
Hz
スロープ : -6 dB/ oct.
-12 dB/ oct.

サブウーファース
出力 : 周波数 : 50/63/80/100/125
Hz
スロープ : -12 dB/ oct.
-18 dB/ oct.
調整幅 : +6 dB ~ -24 dB
位相 : NORMAL/REVERSE

■ 共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 10.0 A
外形寸法	
(取付寸法)	: 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法)	: 170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm
質量	: 1.4 kg (コードユニット含まず)

■ 付属品

コードユニット	: 1
取付ネジ類	: 1 式
リモコン	: 1
リチウム電池 (CR2025)	: 1
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・ 修理窓口のご案内	: 1

・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
 なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

● ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**
: 【一般電話】 **03-5496-8016**
- 家庭用オーディオ/ビジュアル製品
(PDP・DVDなど)のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-22**
: 【一般電話】 **03-5496-2986**
- カタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-33**
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>
- ファックス受付 : **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

- 電話 : ☎ **0120-5-81095**
: 【一般電話】 **0538-43-1161**
- ファックス : ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9：30～20：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

- 電話 : ☎ **0120-5-81028**
: 【一般電話】 **03-5496-2023**
- ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

- 電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**
- ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2003

<KNKZX> <03L00000> <CRA3593-A/N>